

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
放課後等デイサービス キッズスポーツFine!		令和7年 2月 26日				
	チェック項目	はい		工夫している点	課題や改善すべき点	
		はい	いいえ			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	・年齢層が上がり体格が大きくなってきたため、安全面などを考慮し、活動する際の人数を少人数でチーム分けするなど対応している。	・運動活動においては安全面を考慮し、粗大運動や微細運動を提供できるよう継続して工夫していきます。またライフステージに合わせた活動の導入も検討していきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	・男性スタッフの配置、4人以上の送迎時は複数のスタッフでの対応をしている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	83%	17%	・壁面やフロアがシンプルなので情報が多すぎず整理されていると思う。	・事業所入り口に段差があるが、手すりやスロープがないため、今後設置を検討して対応していきたいと考えています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%		・安全面、衛生面はもちろん、感染症防止対策と併せて快適な環境を維持していきたいと考えています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	・静養室以外にスタッフルームを仕切って使用できるスペースがある。	・必要に応じて個室以外にもパーティション等で空間を区切る等、備品整備を検討していきます。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%	0%		・定期的な振り返りの他、児童の変化やその兆しがあった場合にも適宜話し合いを設けて児童の状態把握に努めています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%		・受入れの拡充希望や親子行事等のご意見を頂いており、いずれも実現に向けた体制整備に努めています。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	・平日は児童来所前にミーティングの時間が設けられているので必要際にはこの時間で話し合いを行っている。	・ミーティングの他、適時面談等を実施し、職員の業務改善を図りたいと考えています。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	67%	33%		・法人本部と協議、検討を行なっていきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	・集合研修は人員配置の都合上、受講が難しいため、オンライン研修を積極的に受講するよう努めています。	・必要に応じて実施しているが、日程の都合で外部研修への参加が難しいことが多い状況です。内部研修を充実させたり、職員の増員を図り、外部研修頻度を増やしていきたいと考えています。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%		・支援プログラムの見直し、改善を行ない、サービスの質向上に努めていきます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%		・必要に応じてこどもとの面談機会を設け、悩みや困り事についての聞き取りを行なっており、今後も継続して正確な実態把握に努めていきたいと考えています。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%		・各支援員が意見を主張しやすい環境や関係性に配慮しながら検討の機会を設けています。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	・終業後ケース入力の際計画内容が記載されている事で把握しやすい仕組みがある。	・支援者の目に計画が日常的に触れることで、各児童の目標や支援内容を意識できるよう、今後も工夫していきたいと考えています。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%		・都度の振り返り等で頻回に情報共有はしておりますが、ツールを使用したアセスメントの機会を今以上に増やしていきたいと考えています。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%		・「地域支援・地域連携」項目に具体性を持たせるため、地域との関係性をより深められるよう、地域行事への参加や行事への招待を企画したいと考えています。

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	・毎日その日の療育内容の話し合いを行ったり、行事がある月にはイベントの話し合いを行なっている。	・各児童の状況を確認しながら、都度より楽しく、より効果的な活動になるようMTを続けていきたいと考えています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	・毎日活動内容のミーティングを行なっている。 ・日々の活動が重ならないようにしている。 ・リーダースタッフを毎週変えることで固定化していない。	・児童らが新鮮な気持ちで「楽しく」活動に取り組めるような配慮を今後も継続していきたいと考えています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%		・集団活動に比べ、個別活動の比率が低い状況のため、ライフステージに合わせた活動を検討していきたいと考えています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	・支援開始前に必ずミーティングを行なっている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか。	50%	50%	・当日の振り返りが出来ない場合は、翌日の支援前MT時に情報共有するようにしている。	・終了後は時間がなく行えない日もありますが、翌日に情報共有するなどの工夫を続けていきたいと考えています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	・終業後にケース入力を欠かさず行なっている。	・記録後の検証に活かすため、客観的に記録するなどの共通認識が持てるよう努めていきたいと考えています。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	・月に一回個別支援計画に沿った振り返りを実施している。	・各児童の状態や状況により、適時モニタリングを実施していきたいと考えています。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	100%	0%		「地域交流の機会の提供」が希薄なため、外出支援の機会を増やしていきたいと考えています。
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	・活動内容に児童らの要望等を取り入れる等の工夫により、児童らが自身の意見を述べたり主張したりする機会を設けている。	・自分たちの意見が反映された活動であるがゆえに意欲的に取り組んでくれているため、今後もこういった工夫を続けていきたいと考えています。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%		・会議には事業所からは児発管が出席していますが、職員から情報を吸い上げてから参加するよう配慮しています。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%		・部分的には連携しているが、関係性が希薄な機関があるため、自立支援協議会等での活動を通して良好な関係を築けるよう努めていきたいと考えています。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%		・連絡調整が不十分な学校（担任）があるため、学校の都合にも配慮しながら、関係構築に努めていきたいと考えています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	17%	83%		・現在、高学年の利用児童が多く就学前の機関との連携はありませんが、今後必要に応じて連携を図っていきたいと考えています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	67%	33%		・現在、当事業所初めて学校卒業予定者があり、情報提供の準備を進めています。今後も円滑なサービス移行ができるようにしていきたいと考えています。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	17%	83%		・地域に児童発達支援センターが未設置のため、連携する機会がありません。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0%	100%		現在、交流の場を設けられていないため、今後検討していきたいと考えています。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	100%	0%	参加出来る際には、児童発達支援管理責任者が参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	・お迎え時や送迎時に保護者様と情報共有を行なっている。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	50%	50%	・保護者同士での話し合いの場や個別面談の際に、情報提供を行っている。		
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	・保護者の方が納得できるよう、面談の際に説明を実施している。		

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	・定期的に面談を設け、ご意見やご要望の聞き取り、諸々の調整を行なうようにしている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	・計画に沿って具体的な支援方法を児童らの様子等を交えながら、分かりやすい説明になるよう努めている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	・必要に応じて個別面談を設定したり、お迎え時に関わり方等についての助言を行なっている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	100%	0%	・保護者様の集まりを企画し、今年度はママカフェを2度開催することが出来た。今後も、要望に応じた対応をしていければと思う。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	・苦情やご要望への対応や窓口についてはご契約時に説明を行なう等して周知している他、体制も整備している。	・現在、苦情等の申し立てはなく、概ねニーズに対応出来ている、と解釈していますが、より満足して頂けるサービスを目指していきたいと考えています。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	・インスタグラムなどのSNSを通して、日々の活動を発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	・個人情報の取り扱いについて同意書への記入をお願いしている。	・個人情報の取り扱いに関する危機管理について、引き続き職員へ周知徹底するよう努めていきます。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%		・現在、何かしらのツールを必要とする状況はありませんが、必要に応じてご対応できるようにしていきたいと考えています。
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0%	100%		・地域のクリーンアップは実施しているが、児童らと地域住民との交流の機会は不十分のため、計画していきたいと考えています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	83%	17%		・各マニュアルを策定していますが、事業所の実態をより反映したマニュアルに出来るよう見直し、改善をしていきたいと考えています。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	83%	17%		・他各種マニュアル同様、事業所の実態をより反映したBCPになるよう見直し、改善をしていきたいと考えています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%		・契約時等に服薬や持病等の確認は必ず行うようにしています。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	50%	50%		・現在、該当する児童がいないが、今後食物アレルギーがある児童が利用に繋がった際は、関係機関と連携を図っていきたい。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%		・内部研修を充実させ、職員の安全計画や危機管理に対する理解を深めていきたいと考えています。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%		・年度の切り替え時や防災の日等、節目で定期的に確認及び発信するなどして、いま以上に周知できるよう努めていきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	83%	17%		・ヒヤリハットの情報共有や対策検討を今後も継続して、安全な環境作りに注力したいと考えています。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	83%	17%	・参加が可能な際には研修に参加している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	・契約時に身体拘束について説明をしている。		